

流通経済大学 学報

# RKU Today

SPRING/SUMMER 2019

Match

みんなのビジネスプランコンテスト

in 流通経済大学



Angel's Wing  
60R0

流通経済大学

vol.37

04 コンテスト開催レポート

## Match みんなのビジネスプランコンテスト in 流通経済大学

06 成果発表会開催レポート

## 2018年度特別奨学生成果発表会

07 Logistics Innovation Project

## 文部科学省平成30年度 「私立大学研究ブランディング事業」に採択決定

08 Close Up!

## [教職員紹介]

10 新松戸キャンパス学園祭開催レポート

## 第14回青春祭

11 Information

## SNSと動画サイトで、 RKUのキャンパスライフ・NEWSをお届け

12 活動報告会開催レポート

## 国際スポーツボランティア活動報告会

13 付属柏高等学校ニュース

## 新時代、「令和」を迎えて

14

## 2019年度後援会総会報告

16 流通経済大学創立50周年

## 流通経済大学50周年記念事業募金にご協力頂いた皆様(6)

16

## 新任教職員紹介

17

## NEWS & TOPICS

2018年度卒業式ならびに大学院学位記授与式挙行/2019年度入学式挙行/RKU WEEK開催/「ストレスは友だち -ストレスとの付き合い方を学ぶ-」を開催/保育実習事前指導/企業研究の一環として旅行会社を訪問/2018年度流大読書コメント大賞「年間大賞」「年間優秀賞」決定/「祭魚洞文庫」貴重資料の一部を特別公開/学生のボランティア活動に関する協定を締結/東京2020参画プログラムゴールボール研修・体験会開催/市民大学講座開講/レインボー国際交流会実施/交換留学生修了式/千葉県情報発信推進事業意見交換会プレゼンテーション部門で最優秀賞/国土交通大学校柏研修センター公開講座で学習成果報告/第8回北関東甲信越大学対抗学生法律討論会開催/知財活用スチューデントアワードで優秀賞受賞/関東学生陸上競技対校選手権大会男子2部総合優勝

# 巻頭言

RKU Today SPRING/SUMMER 2019



新しい学年になる。  
新しい西暦になる。  
新しい元号になる。  
時の節目が変わるときは、  
夢へのスタートを切るチャンスだ。  
さあ、勇気をもって、  
最初の一步を踏み出そう。

## 最優秀賞

### 「フレッシュ!!フルーツアイランド～狩ろう!食べよう!浸かろう!～」

藤生らなさん / 中澤啓悟さん / 鈴木ゆりあさん 3名とも経営学科2年(当時)

#### 藤生さん コメント

今回のビジネスプランコンテストで私が最も得られたことは「相手の気持ちになって本当に欲しいものを考える力」です。実際に取手市へ行き調査をした結果、私たちはもっと学生に取手で遊んで欲しいと思いい「フレッシュフルーツアイランド」というテーマパークを考えました。インスタ映えするスポットやハンドメイドコーナー、インスタ映えフードを作ることによって若い人達の集客を考え、地域活性化を目指しました。

#### 中澤さん コメント

私が今回のプレゼン大会で優勝することができたのは、ひとえにチームメイト2人のおかげです。当初は3人チームということもありそれぞれの意見のすり合わせが大変でした。しかしそれを乗り越え、人数を生かした発想力の豊かさで勝負できたことは大きかったと思います。また、今回のように場所が大きく関わる企画では、その土地の特性を理解して提案することが重要なのだとよくわかりました。

#### 鈴木さん コメント

Matchみんなのビジネスプランコンテスト最優秀賞というとても良い結果を残すことができました。素晴らしい賞をいただき大変嬉しく思っています。まさか自分たちの力でここまで来れるとは思っていませんでしたので、応援して下さった方々にとても感謝しています。また、チームのメンバーと協力して結果を残すということが一番重要だったと感じていて、藤生さんと中澤さんにはとても感謝しています。たくさんの方々と関わったことも良い経験になりました。今回の経験を今後生かし自信にしていけたら良いなと思っています。



# 「Match みんなのビジネスプランコンテスト in 流通経済大学」開催

## Business plan contest



2月23日、本学において第3回「Matchみんなのビジネスプランコンテスト」が開催されました(主催: Match 広域連携推進本部、後援: 茨城県、企画運営: 一般社団法人とりで起業家支援ネットワーク Matchみんなのビジネスプランコンテスト事務局)。

このコンテストは、地域の元気な起業家を市民で応援する「地域密着型・市民参加型」のコンテストとして、2017年3月から始まったものです。

「マッチみんなのビジネスプランコンテスト」のほかに、「ターゲット顧客」「マーケティング戦略」「競合先・ポジショニング」「販売方法と価格」「地域(取手市・龍ヶ崎市)との連携」について、そして「起業3年後の事業イメージ」について記述することが求められます。それと同時に、応募要件を満たしているか、適法か、公序良俗に反していないかなどが審査されます。

次段階の事業計画審査では、エントリー審査において記述した内容をもとに、「事業プラン概要」

「事業計画の全体像」「マーケティング戦略」「事業プランについてアピールしたいポイント」「3年後のビジョン」「経営方針・経営理念・目標」や、「許認可・法的規制の有無」「資金計画(必要資金・調達方法)」「損益計画(3期分)」 「従業員数(経営者・アルバイト等含む)」についての記述が求められます。特に「事業プランについてアピールしたいポイント」では、新規性、着眼点、実現したい夢、解決したい課題、社会に提供する価値といった観点でのアピールが重要で、提出されたプランは着眼点、新規性、成長性、実現可能性の4項目を中心に審査されます。

この段階で、学生部門では59組のプランの提出がありました。セミファイナル審査に進むプランは10組の予定でしたが、完成度の高いプランが多く提出されたことから、結果15組が審査を通りました。

セミファイナル審査は、龍ヶ崎市役所にて、学生のプレゼンテーションを審査する形で行われました。事業計画書の審査項目に加え、起業家のキャラクターとプレゼンテーション力が重要視され、上位5組がファイナル審査へと駒を進めることになりました。

今回行われた第3回「Matchみんなのビジネスプランコンテスト」では、従来の市民部門のほかに学生部門を新設。本学経済学部が学生が多数応募し、学生部門のエントリーは75組のほりましました。

なお、コンテストの審査は、①エントリー審査、②事業計画審査、③セミファイナル審査、④ファイナル審査の4段階で行われます。

まずエントリー審査では、「事業名」「プラン内容」「プランに対する想い」のほか、「ターゲット顧客」「マーケティング戦略」「競合先・ポジショニング」「販売方法と価格」「地域(取手市・龍ヶ崎市)との連携」について、そして「起業3年後の事業イメージ」について記述することが求められます。それと同時に、応募要件を満たしているか、適法か、公序良俗に反していないかなどが審査されます。

「事業計画の全体像」「マーケティング戦略」「事業プランについてアピールしたいポイント」「3年後のビジョン」「経営方針・経営理念・目標」や、「許認可・法的規制の有無」「資金計画(必要資金・調達方法)」「損益計画(3期分)」 「従業員数(経営者・アルバイト等含む)」についての記述が求められます。特に「事業プランについてアピールしたいポイント」では、新規性、着眼点、実現したい夢、解決したい課題、社会に提供する価値といった観点でのアピールが重要で、提出されたプランは着眼点、新規性、成長性、実現可能性の4項目を中心に審査されます。

この段階で、学生部門では59組のプランの提出がありました。セミファイナル審査に進むプランは10組の予定でしたが、完成度の高いプランが多く提出されたことから、結果15組が審査を通りました。

セミファイナル審査は、龍ヶ崎市役所にて、学生のプレゼンテーションを審査する形で行われました。事業計画書の審査項目に加え、起業家のキャラクターとプレゼンテーション力が重要視され、上位5組がファイナル審査へと駒を進めることになりました。

決戦のファイナル審査は、本学第3回「Matchみんなのビジネスプランコンテスト」として開催され、当日は80名の市民および学生の皆さんが応援に駆けつけてくれました。

審査委員だけでなく市民や学生も審査に参加し、学生部門においては最優秀賞1組、優秀賞4組が選ばれました。最優秀賞は取手市役所まちづくり振興部長 川田清氏から、優秀賞は、流通経済大学学長補佐・経済学部長 吉村聡先生から表彰を受けました。

このビジネスプランコンテストにおいて、学生は社会や地域が抱えている問題を自ら発見し、それを解決するための調査や考察を行い、その結果を多くの人の前で発信するプロセスを踏みました。この経験は、参加学生のこれからの貴重なものとなることでしょう。



## 優秀賞

### 「デジタル時代のエンターテインメントパーク」

荒木秀一さん 経営学科2年(当時)

#### 荒木さん コメント

今回参加して思ったことは、挑戦する大切さと大きな夢を持つ大切さです。私は今までこうしたコンテストに挑戦したことがなかったのですが、最後までやりきって優秀賞もいただくことができ、自分でもできるんだと自信を持つことができました。最初は絶対無理だと思ったことでも実際にやってみることがとても大切ということを知りました。また、今回は学生部門で学生ならではのユニークな発想が求められていたので、こんな本当にできるのか? というプランを考えました。現在は評価につながったのではないかと思います。現在はゼミでの活動を通して新しいことに挑戦していますが、このビジネスプランコンテストの経験は自分の糧になりました。何か新しいことに挑戦したい人がいたら、ぜひビジネスプランコンテストに参加してほしいです。



## 優秀賞

### 「Eスポーツ事業」

高塚拓実さん 経営学科2年(当時)

#### 高塚さん コメント

このビジネスプランコンテストに参加して一番感じたことは、自分の考えだけではなく色々な視点を持つことが大切だということです。もちろん利益をあげることも重要なのですが、顧客からの視点、例えば価格は適切なのか、アクセスはしやすいのか、などです。このような考え方に気づけたことが一番の経験になったと思っています。また、市民部門のプレゼンテーションを見られたことも良い経験になりました。学生部門と市民部門とのプレゼンテーションの差は明らかで、どのようにプレゼンテーションをしたら良いのか、見やすいスライドは何かなど参考になることが多かったです。この先のプレゼンテーションに役立てられたら良いと思っています。このビジネスプランコンテストで経験したこと、感じたことはこの先の就職活動などにも生かせると思います。



## 優秀賞

### 「地域でおもてなし! ~宇都宮グリーンツーリズム大作戦~」

鈴木栄詞さん 経営学科1年(当時)

#### 鈴木さん コメント

私の夢は家業である胡蝶蘭の生産農家を継ぐことです。それと同時に蘭を活用し、地域を活性化したいと考えています。この夢を大勢の前で発表したことはありませんでしたが、先生がビジネスプランコンテストを勧めくださり、出場することになりました。人前で話すことが苦手なので不安もありましたが、当日は練習通り堂々と発表することができました。発表したことで少しだけ自信を持って意見を言えるようになりました。とても大きな成長だと思います。また、発表するために具体的にプランを考えただけで、より一層夢を叶えたいと思うようになりました。コンテストに出場したことはとても良い経験になり、私の財産になったと思います。今後も色々な事に挑戦し、成長していきたいと思っています。



## 優秀賞

### 「ピザ自動販売機」

青沼瑛一郎さん / 木下翔太さん 2名とも経営学科2年(当時)

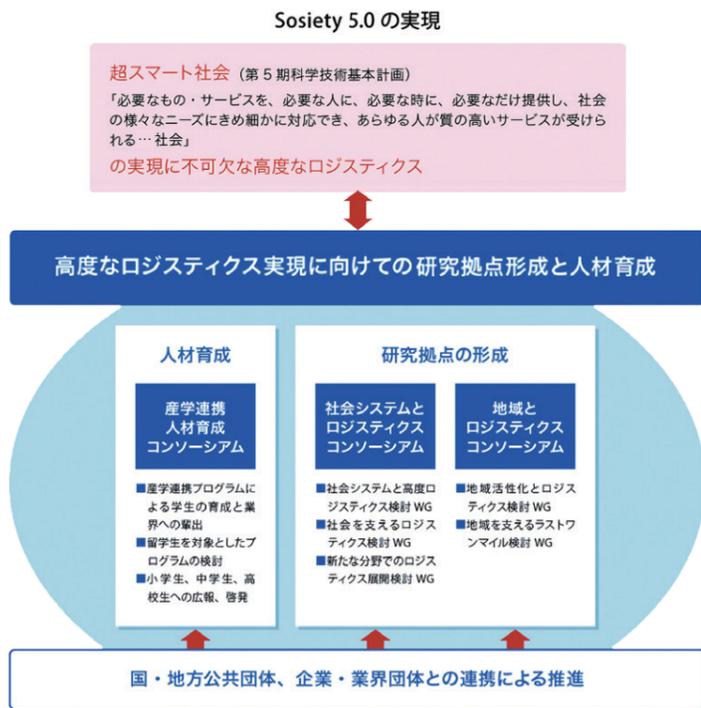
#### 青沼さん コメント

今回のビジネスプランコンテストで、非常に良い経験を得たと感じています。まず、ビジネスプランを作成するにあたり様々なことを勉強しました。ここで得た知識は将来に役立つものだと考えています。また、友人や教員の方などからビジネスプランの内容についてや、プレゼンテーションのスライドの内容、プレゼンの仕方など多くのことをアドバイスをいただきました。決して私一人の力では今回の結果を残すことはできなかったと強く感じています。力を貸してくださった皆様、ありがとうございました。今回のビジネスプランコンテストは私自身が成長する一つのきっかけになりました。これからはより一層自分を磨いていきたいと思っています。



# 文部科学省平成30年度「私立大学研究ブランディング事業」に採択決定

「物流、ロジスティクスは流通経済大学」から「ロジスティクスの未来をつくる大学」へ



このほど、本学の文部科学省への申請事業が平成30年度「私立大学研究ブランディング事業(タイプA 社会展開型)」地域の経済・社会、雇用、文化の発展や特定の分野の発展・深化に寄与する研究」に採択されました。

事業名称は、「高度なロジスティクス実現に向けての研究拠点形成と人材育成」ロジスティクス・イノベーション・PJ」です。

この研究ブランディング事業は、学長のリーダーシップのもとで、全

学的な独自色を大きく打ち出す研究に取り組む私立大学等を文部科学省が支援するものですが、本学では、開学時から続く「流通経済一般に関する研究と教育」をさらに推し進め、ロジスティクスに関する研究拠点を形成し、人材育成に一層注力するとともに、ロジスティクスの重要性を社会に発信し、超スマート社会に欠かせないロジスティクス・イノベーションを牽引する大学を目指していきます。

## 2018年度特別奨学生成果発表会開催

2月4日に特別奨学生成果発表会が新松戸キャンパスで行われました。午前中は各学年に分かれ分科会を、午後は2年生の「未来力チャレンジ報告」、4年生の「最終成果報告」を合同で実施し、それぞれのプログラムの代表者より発表がありました。発表内容について学長から講評をいただいたあと、2件の最優秀賞と3件の優秀賞の表彰が行われました。



### 最優秀賞

#### 未来力チャレンジ報告

「自身のストレスと食事の関係について」

中島琢登さん スポーツコミュニケーション学科2年(当時)

#### 最終成果報告

「Hawaii International Conference on Education発表報告」

黒澤咲美さん スポーツ健康科学科4年(当時)



## Pick Up!

### 最優秀賞受賞者

#### 黒澤咲美さん(生方ゼミ)のコメント

スポーツ選手が良いプレーをするため試合前や動作前に行う「ルーチン」の効果について、流通経済大学の運動部の学生を対象にアンケート調査を実施、分析し、まとめた内容をハワイで行われた国際学会で発表しました。

学会参加は初めて、まして海外での研究発表でしたので、緊張と不安が大きかったです。それでも担任の生方先生からのアドバイスや、ゼミの仲間と励まし合うことで、楽しみながら研究活動に取り組むことができました。

私はこれらの活動を通して、臆することなくチャレンジする大切さを学びました。



黒澤さん

#### 指導教員 生方先生からのコメント

2年間の生方ゼミの集大成として、ハワイで開催された国際教育学会で、正々堂々と発表を成し遂げてくれました。黒澤さんはチームのリーダーとして、この研究発表に精力的に活動し、他のメンバーと協力して素晴らしい成果を出してくれました。英語での発表のために、CLIPにも何度も通い、余念なくリハールを行い、発表に備えました。実際の発表では、様々な国からの参加者と積極的に意見交換をするなど、とても頑張りました。国際学会発表という、大きなチャレンジを成功させてくれたことを誇りに思います。



生方 謙 教授  
スポーツ健康科学部

## 関連トピックス

## TOPICS

### 2018年度「産学連携人材育成コンソーシアム」が開催されました。

3月15日、東京ガーデンパレスにて本学主催の「産学連携人材育成コンソーシアム」が開催されました。本学の流通情報学部では、2008年度以降継続して、物流とロジスティクスに関する「実践講座」と「寄付講座」を開講し、2018年度は物流企業や関連団体から多数の経営者や実務者を講師に招き、実践講座を9講座、寄付講座を2講座開講しました。今回のコンソーシアムでは、受講生から得たアンケートも含めた講座の実施報告と、次年度の実施計画の策定に加え、国土交通省からオブザーバーを迎えて、物流分野における高度人材の育成と確保について関連な議論が交わされました。

#### 2018年度開講の「実践講座」

「ロジスティクス実践講座」、「物流マネジメント実践講座」、「国際物流実践講座」、「情報システム実践講座」、「ダイレクトマーケティング実践講座」、「ロジスティクス企業訪問講座」、「ロジスティクス改善演習」、「IoTロジスティクス実践講座」(新規開講)、「地域ロジスティクス実践講座」(新規開講) 計9講座

#### 2018年度開講の「寄付講座」

「日本通運寄付講座」、「全国通運連盟寄付講座」 計2講座

### 特別シンポジウム「スポーツとロジスティクス」を開催しました。

2月1日、アルカディア市ヶ谷にて本学主催の特別シンポジウム「スポーツとロジスティクス」を開催しました。ラグビーワールドカップや東京2020大会の開催が迫るなかで高い関心を集め、定員を超す参加者を得ての実施となりました。基調講演は、「スポーツとロジスティクス～東京2020大会と大会物流～」と題し、及川勝利氏(東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会輸送局ロジスティクス部長)と松本祐一氏(東京都オリンピック・パラリンピック準備局大会施設部輸送課長)にご講演をいただきました。パネルディスカッションでは、本学の矢野教授(流通情報学部)がコーディネーターを務め、冒頭で1964年東京オリンピックの記録ビデオ「オリンピックをはこぶ」(企画:日本通運(株)、制作:輸送経済新聞社)が上映されました。続いて6名のパネリストが大会物流と大会期間中の一般物流、さらには広くスポーツに関わるロジスティクスの現状と課題について意見を交わしました。

#### パネリスト

● 基調講演講師：及川勝利氏 ● 基調講演講師：松本祐一氏 ● 増田久士氏(釜石市ラグビーワールドカップ2019推進本部事務局主幹・釜石鶴住居復興スタジアムマネージャー) ● 中村考昭氏(ゼビオホールディングス(株)マーケティング担当副社長執行役員・クロススポーツマーケティング(株)代表取締役社長) ● 鈴木秀樹氏(株式会社FC取捨役事業部長) ● 苦瀬博仁教授(流通経済大学流通情報学部教授)





[教育研究支援グループ 教務課]

鹿野英里佳  
Erika Kano

学生に支えられる毎日

入職前、大学の職員は「学生をサポートすることが仕事」だと思っていました。入職して8年目となった今、「学生をサポートする」以上に、私自身が「学生に支えられている」と感じています。

1年程前、娘を出産し、育児休暇を1年間とらずに職場復帰をしました。自分自身で決めたもののいざ出勤すると子供との時間が少なく後悔しました。気持ちがすっきりしない時、「就職が決まりました。卒業も何とかできそうですし、以前、履修と一緒に考えてもらい、感謝しています。復帰されていたので、お礼を伝えられました」と学生が窓口に来課しました。その後も現在担当している教育職員免許の取得を目指している学生が次々と来課し、「鹿野さんが帰ってきたからもう安心だ」と言ってもらい、気持ちが晴れました。

今では、仕事に早く復帰したかった理由は、学生と関わりたかったからだ実感しています。また、学生に支えられて仕事ができていることに改めて気づききっかけとなりました。関わってきた学生・卒業生には感謝の気持ちでいっぱいです。



[スポーツ健康科学部]

大平正軌 助教  
Masaki Ohira

学生・選手を目標に導く  
コーチング

I♥️RKU。流通経済大学サッカー部のコーチとして10余年、部の指導者として、また社会人として育てていただきました。本学のサッカー部から輩出したプロ選手はすでに100名を超え、2019年現在、日本で一番プロ選手を輩出しているサッカー部となりました。

2017年からはスポーツコミュニケーション学科の教員となりました。私の専門分野はコーチングで、スポーツに「競技力の向上」と「人間的な成長」の2つのゴールを設ける「ダブルゴール・コーチング」を心がけています。Jリーグのプロコーチはもちろん、体育教師やプロスポーツクラブのスタッフなど、運営・強化・営業・地域貢献・マーケティングなどの視点も持った指導者・スタッフの育成を目指しています。

部のコーチから学部教員となって、指導する対象が主にサッカー部員以外の一般学生たちとなりました。サッカーを通じて、スポーツの楽しさを体験させながらリーダーシップやフォローシップなどを身につけてもらうべく頑張っています。

担当するゼミでは、経験則のない競技や種目でのコーチングの構築や、指導実践を通じての学生とのディスカッション、ロシアワールドカップのゲーム分析(優勝国フランスと日本の比較)、障害サッカーの体験からの学び等々、多様な側面からのアプローチを行っています。



[法学部]

加藤洋平 助教  
Yohei Kato

地方自治の教育、  
研究によって地域を変えたい

私の専門分野は、地方自治論です。研究テーマとしているのは、地方自治体における行政組織のマネジメントのあり方です。とりわけ、市役所の組織をどのように編成、管理することが、地域、住民にとってベストなのかを大学院生の頃から研究しています。もちろん、市役所は多くの職員が働く場でもあり、職員にとって働き易い組織、職場とはどのようなものかについても考えていくこととなります。近年、市役所職員は多忙であり、職場、働き方の見直しが必要です。

また、私のゼミでは、「地方自治体における政策形成」をテーマとして、北海道の登別市で開催される「全国大学政策フォーラムin登別」に参加しています。地方自治論、公共政策論、行政学をテーマとするゼミが全国から参加しています。このフォーラムでは、登別市をフィールドワークし、関係者に対して政策案のプレゼンを行っています。こうした活動を通して、学生には、地方自治や公共政策に興味や関心を持ってもらいたいと考えています。



[流通情報学部]

小川健一郎 准教授  
Kenichiro Ogawa

生物システムにおける  
情報の複雑さを解明する

私は大学・大学院において理論物理学を専攻し、物質を構成する最小単位である素粒子の性質と素粒子間に働く力の起源を解明するために、数理的な研究を行ってきました。その過程で、一見複雑に見える現象の背後に非常に美しい法則性が潜んでいることが分かりました。

その後、細胞や生物に関わる、より複雑な自然現象にも似たような法則性があるのではないかと考え、新たに情報科学の観点を導入することで生物システムの理論的な研究を行ってきました。その結果、素粒子の現象と生物の現象との間に共通した数理的な構造があることが分かりました。

そして現在、生物集団における自己組織化現象の原理を解明する研究を進めています。具体的には、個体同士のコミュニケーションにおける認知的ロバスト性と認知的創発性との双対関係について調べています。

生物の持つこれらの性質は、現在話題のAI、IoT、ビッグデータなどの先端情報科学の抱える問題と深く関係しており、講義ではそれについて情報の価値という切り口で話を進めています。



[社会学部]

辻野啓一 教授  
Keiichi Tsujino

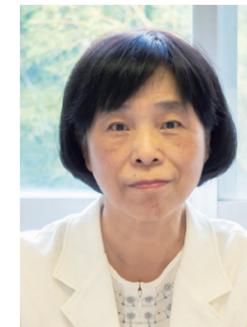
観光の底力と  
わくわく感を教えたい

キャンパスで太めのお腹に、アロハを着ているおじさんを見かけたらまず92%私だと思ってください。

海外勤務の経験はこれまでに4か所、計18年。その内最後の6年がハワイでした。毎月1日には新しいアロハを着ようと決め、結果91枚のアロハを持つことになりました。観光事業論、観光産業論、テーマツーリズム特殊講義と教える内容は異なりますが、最終的に学んで欲しいのは観光の持つ底力と従事する人が獲得するわくわく感です。

今年5月に520人乗りの二階建て航空機A380がホノルルに就航しました。高さはビル8階、長さは山手線車両4台分という強大な代物です。この初便で現地宿泊泊の弾丸ツアーに参加した観光客が30名いたと聞き、少し呆れながらも快哉の声を上げてしまいました。この元気を起こさせるのが旅の力です。

村上春樹氏の著作に『遠い太鼓』があります。遠くから不思議な太鼓の音が聞こえてくるともう身も世もなく旅に出たいと感じてしまうという寓話に基づいた旅行エッセイです。一度知ってしまったら抗えない旅の魅力を伝えていきたいと思っています。



[経済学部]

王碧昭 教授  
Wang Pi-Chao

2年間の回想

2年前、桜が咲く春寒の朝、新入生と共に流通経済大学校歌を元気に歌い、教員として赴任しました。

本学では、数十年間の細胞組織再生実験にピリオドを打ち、一般教養科目の自然環境と物質科学を担当することとなり、前任者の熱心なアドバイスから、複雑な理数式を説くことはやめて、生活のあらゆる面を題材とした授業を行うようになりました。

学生達が理解しやすいよう、物理学や環境に関する画像を多く織り込み、科学史人物伝から現代に至るまでの難問難解を取り込んで、面白く解説することを心がけて授業を行ってきました。

そうしているうちに、大教室の後方から聞こえていた蜂のような雑談の音が徐々に消え、午後の講義で眠そうだった学生達の目がキラキラとしてきました。授業後、真剣な顔で質問する学生も現れ、私も教え甲斐を感じるようになりました。

また、経営学科4年生のゼミを通して、学生の考えにも触れ、本学の一員であるとの思いを強くする日々です。

これからも熱心な同僚と親切な職員と共に、このキャンパスで豊かな心を育てたいと思います。

SNSと動画サイトで、  
RKUのキャンパスライフ・NEWSを  
お届けしています。

Youtube



学部学科の特徴やキャンパスの  
魅力をギュッと詰め込んで、動  
画配信しています。

twitter



トピックスのチェックはtwitter  
が便利。授業や部活動、イベン  
ト情報も満載。



Instagram



キャンパスライフのワンシーンを  
続々公開中。海外留学や語学学  
習、留学生の活動の様子は「rku\_  
international」をどうぞ♡



LINE



オープンキャンパスや出願関係な  
どの入試情報をメインに配信中。

# 第14回青春祭を開催しました!

## 14th Seisyun Festival

6月15日・16日の2日間にわたって、  
新松戸キャンパスの学園祭、青春祭が開催されました。  
学生による模擬店や研究発表、音楽ライブのほか、お笑いライブ、  
大道芸など充実の内容で、卒業生や  
地域の方々にも多数ご来場いただきました。



第14回青春祭責任者のコメント  
藤生らなさん 経営学科3年

皆さま、青春祭にご来場いただき誠に  
ありがとうございました!今年の青春祭は天候が悪く、  
開催できるか不安な点多かったのですが、  
皆さまのおかげで無事に開催でき、本当に良かったです。  
今年の学生会員は総勢81名で、例年よりも出店団体数も多いなか、  
大変なこともありましたが、部署長たちをはじめ多くの人の助けや  
協力があり、なんとか青春祭を迎えることができました。  
今年は恒例のお笑いライブ・音楽ライブのほか、新企画のカラオケや、  
グレードアップした移動動物園など盛りだくさんのイベントでした。  
学生はもちろん、お子さんからお年寄りまで多くの方に足を運んでいただき、  
とても嬉しかったです。来年は今年よりもさらに青春祭を  
盛り上げていこうと思うので、ぜひ楽しみにお待ちください。  
出店してくださった団体の皆さまも、悪天候のなか  
お疲れさまでした。ありがとうございました。

お楽しみに!

龍ヶ崎キャンパス  
「つくばね祭」  
10/26sat・27sun  
開催!

昨年暮から今年の正月にかけ、本校の部活動を代表するラグビー部とサッカー部が揃って全国大会に出場し、共に勝ち進んでスポーツファンの注目を集めました。昨夏の全国高校七人制大会で初優勝したラグビー部は、冬の花園(大阪)での全国大会でも念願のベスト4入りを果たし、サッカー部も全国高校サッカー選手権大会で2年連続準優勝に輝くなど好成績を収めました。

そして、これらの試合を全校一丸となって応援していた生徒達も、両部活の活躍に刺激を受け、その後は随所に「流経大柏魂」を発揮して、様々な分野で活躍する団体や個人が増えました。校内の行事や諸活動も盛り上がりを見せ、生徒募集にも反映されて学校全体としての評価が高まっています。今年はどんな活躍をみせてくれるのかとても楽しみです。



2年連続準優勝に輝いたサッカー部(対青森山田戦)



15人制でベスト4入りを達成したラグビー部(対常翔学園戦)



サッカーの決勝で繰り広げた全校応援(埼玉スタジアム)



日通学園理事長表敬訪問(流通経済大学龍ヶ崎キャンパス)

### 新時代、「令和」を迎えて

「令和」の時代を迎えたのを機に、今後は「流経大柏」の進化を目指し、本校が目標とする高い次元での「文武両道」に力を注いでまいります。生徒の学ぶ意欲を向上させて学力を伸ばし、学業面においても更に高い評価を得たいと思います。

これから打ち出す学力向上策を、本校の文化にしていけることが大切であり、授業が形骸化・画一化しないよう学校としての基本方針を示し、教職員一丸となって取り組みます。研修や研究時間の確保に努め、授業の効率を高めて高度な授業が展開できるようICT(Information and Communication Technology)教育環境の整備などにも力を入れ、高大接続改革に繋げてまいりたいと思います。

今後も、流通経済大学の付属高校としての建学の理念を大切にしながら、本校独自の幅広い教育を展開し、生徒達が更に活躍できる環境を整えてまいります。日通学園 流通経済大学関係者の皆様の温かいご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



## 「国際スポーツボランティア活動報告会」実施レポート —スポーツを通じた様々な国際協力のカタチ—

2月から3月にかけてインドネシア、ドミニカ共和国をそれぞれ訪れラグビーや野球の指導、交流を行ってきた学生による「国際スポーツボランティア活動報告会」が、5月9日、龍ヶ崎キャンパスで開かれました。報告会はスポーツコミュニケーション学科1年生の全員が参加する8ゼミ合同活動の一環として行われたもので、スポーツ健康科学科の4ゼミも参加し、およそ150人が体験報告を聴講しました。

ラグビー部員によるインドネシア訪問は国際協力機構(JICA)と流通経済大学による提携事業として行われたもので、昨年に続き2回目。部員はおよそ1ヶ月にわたり、インドネシアの7カ所を訪れ、小学生から大学生まで延べ4000人と交流、インドネシアではまだなじみの薄いラグビーの普及活動や技術指導、大学生との交流などに汗を流しました。

報告では動画による活動内容の紹介や現地の生活ぶり、文化の違いなど異文化交流の実際を8人が交代で報告。1年生はメモを取りながら、ラグビーの指導、普及の苦労話からインドネシアのトイレ事情や「300円出せばお腹いっぱい食べられる」ことまで、現地暮らしで感得できない生の報告に聞き入りました。最後に法学部ビジネス法学科4年のイサニ大和さんは「インドネシアで活動することで日本を広い視野で見ることができるようになりました。流経大で学びたい、という生徒がいたことがうれしい」と締めくくりました。

また報告会では現地でホスト役を務めたJICAインドネシア事務所のスタッフとネット中継で結び、訪問した学生の「評価」もいただ

きました。企画調査員の矢野史俊さんは「事前にインドネシア語を勉強してきたことで、活動が効率よく進みました。現地の評価も高い」と述べ、「合格点」をくださいました。またラグビー部OBで長期派遣隊員の比嘉昂さんは「後輩たちが自ら行動するようになっていて、成長が感じられました」と後輩の変貌ぶりを喜んでいました。

一方、外務省のプログラムでドミニカ共和国を1週間訪れ、野球による交流を行った軟式野球部の2人は指導者が選手をリスペクトする同国の指導方法を紹介しました。こうした野球風土が大リーガーを輩出している根底にあることを指摘、さらに日本帰国後はドミニカ流の指導方法を取り入れている大阪府のクラブチームにも足を運ぶなど、海外体験を踏まえて日本での活動を「深化」させたことを伝えました。

1年生からは「その国の実情に合わせて教えられるのが良い指導者なのだと感じた」「外国に行くことで広い視野で物事を考えられるようにしたい」「剣道を知らない国に行って広めてみたいと思った」などの感想が寄せられ、留学や海外協力への目を開く機会になったようです。

### 「流通経済大学—JICA筑波 大学連携事業」 ラグビー：インドネシア

- 〈派遣学生〉  
池原海斗さん 経済学科4年  
西村奈将さん 経営学科4年  
イサニ大和さん ビジネス法学科4年  
竹内優希さん 自治行政学科4年  
河村亮淳さん スポーツ健康科学科4年  
大石光暁さん スポーツ健康科学科3年  
梶井直斗さん スポーツ健康科学科3年  
根本瑛佑さん スポーツコミュニケーション学科3年

### 派遣学生のコメント イサニ大和さん

今回は、1ヶ月間 JICA と RKU のプロジェクトとしてインドネシアでラグビーを普及するという貴重な経験を積むことができました。国や地域に新しい文化を創る難しさや、理想だけでなく実利を生むために考えるなど、普段日本には考えないような問題と向き合うなかで、自身の視野が広がったように感じました。今回の報告会では「何があったか」や「どうだったか」だけでなく、知らないことと触れることで自身が成長できたということも伝えられたかと思っています。

### 「Juntos !! 中南米対日理解促進交流プログラム」 野球：ドミニカ共和国(外務省事業)

- 〈派遣学生〉  
土井梢平さん スポーツ健康科学科4年  
赤羽孝太さん スポーツ健康科学科4年

### 派遣学生のコメント 赤羽孝太さん

今回は、スポーツコミュニケーション学科の1年生に話を聞いてもらったことに非常に大きな意味があると思います。それは未来のスポーツ界を担う彼らに、従来の日本とは違う指導の考え方を覚えてもらえたからです。どのような考えが正解か、というものはありませんが私たちの話を聞いて少しでも引き出しを増やしてくれれば幸いです。

また、私は大学4年生を目前にして初めて海外に行きました。日本で21年間過ごしてきましたが、約10日だけのドミニカ生活で視野や選択肢が広がりました。大学にはそのような機会に触れるチャンスがたくさんあります。それを掴むか逃すかは自分次第です。様々な人と関わり、アンテナを張って生活することで見えなかったものが見えてきます。ぜひ、大学に進学したばかりの1年生にはそのようなことを頭に入れてながら生活してもらい、幅広い分野で活躍してほしいと思います。

## 第5号議案

### 2019年度収支予算に関する件

#### 2019年度収支予算書

自 2019年4月1日 至 2020年3月31日

(金額単位:千円)

項目	予算	摘要
前年度からの繰越	6,931	
前年度回収	2,173	
収入の部		
入会金	7,135	入学者1,427名(うち留学生93名、編転入生6名)
会費収入	68,643	
計	75,778	
収入合計(A)	84,882	
支出の部		
通信費	1,500	広報誌送料等
印刷費	800	広報誌印刷等
会議費	200	
事務費	5,000	
父母懇談会費	3,500	会場使用料、案内状・配付資料作成等
雑費	150	
小計	11,150	
諸行事後援費	9,000	卒業記念品、惜別会費用等
小計	9,000	
求人開拓費	350	求人のための大学案内作成等
就職指導費	13,000	業界説明会開催費、模擬試験等受験料、学生配布資料作成等
小計	13,350	
課外活動補助費	9,000	スポーツ傷害保険料、課外活動備品等
大学祭・体育祭補助費	1,600	大学祭への援助
クラブ顧問補助費	30,000	遠征、合宿等の旅費等の補助
小計	40,600	
環境整備寄付金	2,000	
前年度支出	2,000	
支出合計(B)	78,100	
翌年度へ繰越(A-B)	6,782	



## 第3号議案

### 2019年度役員選出に関する件

2019年度の役員が決定しました。

会長	松園 洋
副会長	飯高将史 大徳 均
監事	仲村忠則

以上

## 第4号議案

### 2019年度事業計画に関する件

#### 2019年度 事業計画

2019年度は、本後援会の目的(会則第3条)及び事業(第5条)にそって、次に掲げる事業を推進していくものとする。

#### 1 後援会会員(父母)と大学との連携

(1) 父母懇談会の実施に伴う諸費用の援助

開催都市	開催予定日
龍ヶ崎キャンパス	6月29日(土)
新松戸キャンパス	7月 6日(土)
青森市	7月13日(土)
秋田市	7月14日(日)
郡山市	7月20日(土)
高崎市	7月21日(日)
金沢市	7月27日(土)
名古屋	7月28日(日)
高松市	8月24日(土)
神戸市	8月25日(日)
那覇市	8月31日(土)
熊本市	9月 1日(日)

(2) 広報誌の発行及び費用援助  
大学と父母を結ぶ広報誌『RKU Today』発行の費用を負担する。

#### 2 就職活動への援助

- 求人開拓に関する援助
- 就職指導に関する援助
- 就職適性検査・就職実践模擬試験・エントリーシート攻略テスト受験料の全額負担

#### 3 課外活動に対する援助

- 文化系、運動系クラブに対する援助
- 課外活動関係設備を充実するための援助
- 課外活動傷害保険料の全額負担

#### 4 諸行事への援助

- 学生が開催する大学祭等の行事に対する援助
- 卒業生に対する卒業記念品の贈呈、惜別会開催費用の援助

#### 5 後援会奨学金の貸与

家計急変等により学業継続が困難となった学生に、大学と協力し後援会奨学金を貸与する。

#### 6 その他

環境整備への援助

以上

## 第2号議案

### 2018年度収支決算に関する件

#### 2018年度収支決算書

自 2018年4月1日 至 2019年3月31日

(金額単位:円)

項目	予算(a)	実績(b)	増減(b-a)	備考
前年度からの繰越	4,660,194	4,660,194	0	
前年度の回収	2,321,696	2,321,696	0	
収入の部				
入会金	7,000,000	7,015,000	15,000	入学者1,416名(うち外国人留学生137名、編入学者3名)
会費収入	66,208,000	66,627,500	419,500	入会金・会費減額者13名
利息収入	0	2,420	2,420	預金利息
計	73,208,000	73,644,920	436,920	
収入合計(A)	80,189,890	80,626,810	436,920	
支出の部				
通信費	1,600,000	1,397,075	△ 202,925	広報誌送料等
印刷費	1,000,000	705,202	△ 294,798	広報誌印刷費等
会議費	200,000	159,530	△ 40,470	
事務費	5,000,000	4,910,000	△ 90,000	
父母懇談会費	3,500,000	3,295,393	△ 204,607	父母懇談会開催費用
雑費	150,000	90,724	△ 59,276	振込手数料他
小計	11,450,000	10,557,924	△ 892,076	
諸行事後援費	9,000,000	5,934,171	△ 3,065,829	卒業記念品代、惜別会費用等
小計	9,000,000	5,934,171	△ 3,065,829	
求人開拓費	700,000	212,148	△ 487,852	
就職指導費	12,600,000	11,785,693	△ 814,307	就職説明会等補助、就職適性検査・就職模試受験料
小計	13,300,000	11,997,841	△ 1,302,159	
課外活動補助費	9,000,000	5,110,468	△ 3,889,532	スポーツ傷害保険料、課外活動備品購入等
大学祭・体育祭補助費	1,600,000	1,600,000	0	大学祭への援助
クラブ顧問補助費	30,000,000	34,321,918	4,321,918	遠征、合宿等の旅費等の補助
小計	40,600,000	41,032,386	432,386	
環境整備寄付金	2,000,000	2,000,000	0	
前年度支出	0	2,173,616	2,173,616	
支出合計(B)	76,350,000	73,695,938	△ 2,654,062	
翌年度へ繰越(A-B)	3,839,890	6,930,872	3,090,982	

#### 財産目録 (2019年3月31日 現在)

(金額単位:円)

項目	金額	摘要
(一般資金)		
現金	165,457	手許残高
預金(常陽銀行 竜崎支店)	4,494,737	期末残高
小計	4,660,194	
(育英資金)		
定期預金(常陽銀行 竜崎支店)	15,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行 竜崎支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行 竜崎支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行 竜崎支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行 竜崎支店)	35,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行 竜崎支店)	5,000,000	育英基金
普通預金 奨学金口(常陽銀行 竜崎支店)	4,124,245	育英基金果実
育英基金貸付金	2,645,000	5名
小計	91,769,245	
合計	98,700,117	
負債の部	0	
差引正味財産	98,700,117	

#### 監査報告書

流通経済大学後援会会則第10条第3項の規定により、2017年度流通経済大学後援会収支決算について諸帳簿を監査した結果、その内容についてはいずれも正当なものと認め、第13条の規定により報告いたします。

2019年3月27日

監事 飯高将史  
監事 大徳 均

## 2019年度後援会総会報告

4月1日、入学式終了後に2019年度後援会総会が開催され、各議案について審議、承認がなされました。

本学在学生の父母で構成される後援会は、大学と各家庭との連携を深め、本学の発展・向上を図るために各種事業を行っています。

## 第1号議案

### 2018年度事業報告に関する件

#### 2018年度 事業報告

2018年4月1日開催の後援会総会において、ご承認いただいた事業計画にもとづいて、次のとおり2018年度の事業を実施した。

#### 1 後援会会員(父母)と大学との連携

(1) 父母懇談会の開催状況

開催都市	実施日	父母出席者数
龍ヶ崎キャンパス	6月30日(土)	188名
新松戸キャンパス	7月 7日(土)	434名
いわき市	7月14日(土)	25名
山形市	7月21日(土)	16名
新潟市	7月22日(日)	18名
米子市	8月 4日(土)	3名
福岡市	8月 5日(日)	29名
松山市	8月25日(土)	7名
広島市	8月26日(日)	10名
札幌市	9月 2日(日)	7名
10会場		737名

(2) 広報誌発行の費用援助  
大学と父母を結ぶ広報誌『RKU Today』発行の費用を負担した。

#### 2 就職活動への援助

後援会発足以来の重点施策の一つである大学の求人開拓や就職指導に関して全面的に協力し、費用の一部を負担した。また、就職適性検査・就職実践模擬試験の受験料を全額負担した。

#### 3 課外活動等に対する援助

- 大学の課外活動振興が円滑に推進できるよう、文化系、運動系クラブに対する援助をした。
- 課外活動関係設備を充実するため援助した。
- 課外活動傷害保険料を全額負担した。

#### 4 諸行事への援助

- 学生が開催する大学祭等の行事に対して援助金を交付した。
- 卒業生に対し卒業記念品を贈呈し、惜別会開催の費用を援助した。

#### 5 その他

環境整備への援助

以上

# NEWS & TOPICS

## 「ストレスは友だち-ストレスとの付き合い方を学ぶ-」を開催

4

本学の学生相談室では毎年、外部から専門講師をお招きし、心の成長と健康増進の機会として両キャンパス合同でイベントを開催しています。

今年は2月1日に、常磐大学人間科学部現代社会学科教授で心理臨床センター次長・学生相談室長としても活躍される水口進先生をお招きし、「ストレスは友だち-ストレスとの付き合い方を学ぶ-」を新松戸キャンパスで開催しました。学生・教職員合わせて20名が参加し、ストレスを低減する対処行動や、動作法によって心身の調子を整える方法を学びました。



## 2018年度卒業式ならびに大学院学位記授与式挙行

1

3月20日、龍ヶ崎キャンパスのメインアリーナにおいて、2018年度卒業式ならびに大学院学位記授与式が行われ、学部卒業生1,089名、大学院修士課程修了生15名が晴れて卒業しました。



## 2019年度入学式挙行

2

4月1日、2019年度入学式が龍ヶ崎キャンパスのメインアリーナにおいて挙行されました。会場は新生1,412名に加え、大学院生や編入生、多くのご父母の皆様で満席となり、野尻俊明学長から式辞、佐藤克實校友会顧問から祝辞が贈られました。



## RKU WEEK開催

3

RKU WEEKは新生に本学の設立趣旨・教育理念・教育目標について正しく理解し、これからの大学生活を豊かに過ごしてもらうためのプログラムです。今春は「4年間での学びの理解と目標設定」をテーマに、両キャンパスで4月1日から4月6日にかけて実施しました。ゼミナールでの顔合わせや先生・先輩との交流企画を通じて、履修登録やキャリアプランニングも行いました。



## 保育実習事前指導

5

社会学科の保育士コースの学生は、3・4年の保育所と児童福祉施設での実習に向けて、2年の秋学期に「保育実習事前指導」を受講します。実習を経験した保育士資格取得間近の4年生が2年生に実習の体験報告を行い、2年生は実習のイメージを深めます。4年生にとっても自身の経験を伝えることで、学びを深める機会となっています。



## 企業研究の一環として旅行会社を訪問

6

国際観光学科2年山崎ゼミでは、秋学期のテーマである企業研究の一環として「近畿日本ツーリスト」「日通旅行」「西武トラベル」「日本旅行」を訪問しました。ゼミでは「観光立国日本のさらなる発展に伴い多様化する旅行会社」について研究し、その調査結果を学生自身の2年後に繋げていく事を目標に活動しています。

学生たちはオフィスの雰囲気や社員の方々の仕事を間近にしたことで大きな刺激を受けたようです。



## 流通経済大学50周年記念事業募金にご協力いただいた皆様(6)

(平成30年12月1日～令和元年5月31日までのご入金分を掲載)

前号に続き、流通経済大学創立50周年記念事業募金にご協力いただきました皆様のご芳名を掲載させていただきます。

ご寄付金は有意義に使用させていただき、ご芳名は永久に銘記させていただきます。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

令和元年6月 流通経済大学創立50周年記念事業募金室  
※掲載はご許可いただいた方のみです(敬称略)。

<p><b>教職員</b></p> <p>ご芳名のみの方</p> <p>中原篤徳</p>	<p><b>一般</b></p> <p>20万円</p> <p>百合本茂</p> <p>10万円</p> <p>匿名1名</p>	<p><b>卒業生</b></p> <p>ご芳名のみの方</p> <p>梨子田嘉徳</p>	<p><b>ご芳名のみの方</b></p> <p>浅尾宏紀</p> <p>香取豊</p> <p>加美山克</p> <p>神山勝</p> <p>高橋健幹</p> <p>高橋喜志夫</p> <p>中俣義夫</p> <p>丸岡三千翔</p> <p>吉崎光</p>	<p><b>法人</b></p> <p>10万円</p> <p>丸富運輸(有)</p>	<p><b>在校生(保護者含む)</b></p> <p>3万円</p> <p>佐藤宗之</p> <p>本間美貴子</p> <p>匿名1名</p> <p>1万円</p> <p>稲葉虎史</p> <p>内田修一</p> <p>久賀仁</p> <p>栗原裕生</p> <p>坂梨美奈子</p> <p>鹿野浩司</p> <p>竹上敦善</p> <p>土屋達巳</p> <p>細谷健留</p> <p>山本倫正</p> <p>匿名4名</p>
--	--	---	--	---	---

## 新任教職員紹介

2019年度に本学に新たに赴任した教員・職員を紹介します。

辻野啓一 社会学部教授(特任)

●経歴・取得学位等  
東京外国語大学英米科卒業  
JTB本社広報室長、JTBハワイ社長を経て、特定非営利活動法人日本エコツーリズム協会理事・事務局長

夏目純 法学部教授(特任)

●経歴・取得学位等  
武蔵大学文学部社会学科卒業  
図書出版夏目書房を創業、(有)夏目書房新社編集長

大久保和宣 経済学部准教授

●経歴・取得学位等  
京都大学大学院経済学研究科博士課程修了  
学位:博士(経済学)

志内一興 経済学部准教授

●経歴・取得学位等  
東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学  
学位:博士(文学)

中村努 経済学部准教授

●経歴・取得学位等  
東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了  
学位:博士(学術)

小川健一朗 流通情報学部准教授

●経歴・取得学位等  
東京工業大学大学院総合理工学研究科博士課程修了  
学位:博士(理学)

味水佑毅 流通情報学部准教授

●経歴・取得学位等  
一橋大学大学院商学研究科博士課程修了  
学位:博士(商学)

グエイ・マシュー 経済学部助教

●経歴・取得学位等  
カラマズー大学国際学部卒業  
バーミンガム大学大学院翻訳研究科

王偉杰 法学部助教

●経歴・取得学位等  
慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学  
学位:修士(法学)

下瀬川陽 教育学習支援センター専任所員

●経歴・取得学位等  
東北大学大学院教育学研究科博士前期過程修了  
学位:修士(教育学)

出村雅実 教育学習支援センター専任所員

●経歴・取得学位等  
兵庫教育大学大学院学校教育研究科修士課程修了  
学位:修士(学校教育)

中川華林 教育学習支援センター専任所員

●経歴・取得学位等  
法政大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学  
学位:修士(心理学)

真名瀬陽平 教育学習支援センター専任所員

●経歴・取得学位等  
筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期過程修了  
学位:修士(特別支援教育学)

湯浅拓也 教育学習支援センター専任所員

●経歴・取得学位等  
青山学院大学大学院国際政治経済学研究科修士課程修了  
学位:修士(国際政治学)

鴻巣快 学生支援グループ 学生生活課

竹田くるみ 教育研究支援グループ 教育学習支援課

北原みのり スポーツ健康科学部 インストラクター

並木崇徳 スポーツ健康科学部 インストラクター

第8回北関東甲信越大学対抗  
学生法律討論会開催

16

11月24日、第8回北関東甲信越大学対抗学生法律討論会が開催され、隅谷ゼミの3・4年生と大西ゼミの3・4年生が参加しました。今回の討論会は、新松戸キャンパスの講堂において開催され、高崎経済大学、白鷗大学、新潟大学、山梨学院大学、そして本学から学生が参加しました。出題されたのは、①死亡保険金受取人を「相続人」と指定した場合の各相続人の保険金取得割合、②保険金受取人の権利放棄の効果についての理解を問う保険法の問題であり、熱い議論が交わされました。本学のチームは残念ながら入賞を逃しましたが、先輩後輩ともに一丸となつて一つの目標に向かって取り組みました。



レインボー国際交流会実施

12

2月13日、竜ヶ崎第一高校において、流龍連携プログラムの一環として『レインボー国際交流会』が実施され、本学の留学生8名と竜ヶ崎第一高校の1年生41名が、英語で交流を行いました。当日は留学生と竜一高生で活発な意見交換がなされ、会場は大いに盛り上がりました。



2018年度流大読書コメント大賞「年間大賞」「年間優秀賞」決定

7

年間大賞作品

井町龍輔さん 社会学部3年(当時)  
『君の名前で僕を呼んで』  
アンドレアシマン著/高岡香訳  
(株式会社オークラ)

高橋聖也さん 社会学部3年(当時)  
『世界のビジネスエリートが身につける  
教養としてのワイン』  
渡辺順子著(ダイヤモンド社)



年間優秀賞作品

井町龍輔さん  
社会学部3年(当時)  
『異常快樂殺人』  
平山夢明著  
(KADOKAWA)



知財活用スチューデントアワード  
で優秀賞受賞

17

12月15日、開放特許を活用した企画商品アイデアを競う「知財活用スチューデントアワード」が、昭和女子大学コスモスホールで開催され、流通情報学部の学生チームが優秀賞を受賞しました。



同大会は、各地域で予選を突破した大学生チームが、富士通株式会社など大手企業の開放特許を活用して商品アイデアを企画、プレゼンテーションを行い、その成果を競うものです。同学生チームは、11月23日に行われた「知的財産アイデア大会」茨城大会で最優秀賞を獲得し、今回の「スチューデントアワード」出場権を獲得しました。当日は、東京、茨城、埼玉、長野、静岡の5地域から出場権を獲得した10大学12チームの学生が、来場者約200名の前で商品アイデアを提案しました。

交換留学生修了式

13

1月21・22日、新松戸、龍ヶ崎キャンパスそれぞれで交換留学生の修了式が行われました。新松戸キャンパスでは仁済大学(韓国釜山)からの交換留学生1名に内田事務長から、龍ヶ崎キャンパスでは海南大学(中国)からの交換留学生2名に野尻学長から祝辞と修了証書が授与されました。



東京2020参画プログラム  
ゴールボール研修・体験会開催

10

12月17日、新松戸キャンパス2号館体育館で「ゴールボール研修・体験会」を開催しました。千葉県オリンピック・パラリンピック推進局・日本ゴールボール協会・本学の共催により実施され、新松戸で開講する「選択スポーツトレーニング実技II」の履修学生や大橋ゼミの学生、龍ヶ崎からも多くの学生が参加し、パラリンピック正式種目「ゴールボール」を体験しました。日本代表選手の真剣な試合を見学しその迫りに圧倒された学生。代表選手から直接指導を受け試合も体験しました。



「祭魚洞文庫」貴重資料の一部を  
特別公開

8

渋沢栄一氏の肖像が新一万円札に採用されることから、渋沢栄一氏の孫である渋沢敬三氏の「祭魚洞文庫」貴重資料の一部を、龍ヶ崎・新松戸両キャンパス図書館で公開しました。龍ヶ崎では「ラテンアメリカ諸国出張報告」を含む6点を公開。二代目歌川国貞(1823-1880)による八丈伝の大首絵2枚が目を引く展示となりました。新松戸では敬三氏直筆の「魚名memo」とされるノートを含め4点を現在も公開しています。



関東学生陸上競技対校選手権大会  
男子2部総合優勝

18

5月23日から26日にかけて開催された「第98回関東学生陸上競技対校選手権大会」において、本学の陸上競技部が、男子2部トラック競技得点で33点(慶大、東工大に続く3位)、男子2部フィールド競技得点で62点(2位に19点差をつけての1位)の成績を残し、総合得点95点で、男子2部総合優勝を果たしました。また、1部昇格も決まりました。



国土交通大学校柏研修センター  
公開講座で学習成果報告

15

3月15日に開催された、国土交通大学校柏研修センター公開講座「千葉におけるインバウンド観光振興と観光人材育成」において、「松戸市のインバウンド振興への取り組みー学生観光サポーターとしてー」と題し、本学学生が報告を行いました。学生は緊張した面持ちでしたが、1年間積み上げたものをしっかりプレゼンし、高評価を受けました。



市民大学講座開講

11

毎年恒例の流通経済大学・松戸市教育委員会連携市民大学講座が、今年も好評のうちに実施されました。  
【ヨガで健康生活(3回)】  
健康ヨガの入門編を実施しました。講師ー健康運動指導士 渡邊好美氏  
日程ー5月25日、6月1日、6月8日  
場所ー新松戸キャンパス2号館体育館  
【健康長寿のためのヒントと実践ースポーツ健康科学の最前線からー】  
会場内で行える軽めの実技も交えながら講義を聴きました。講師ースポーツ健康科学部助教 吉川 徹氏  
日程ー6月15日  
場所ー新松戸キャンパス1号館503教室



【政治記者の体験的永田町論ー政治をもっと身近にするためにー】  
取材体験をもとに政治の見方を参加者と一緒に考えました。講師ースポーツ健康科学部教授 龍崎 孝氏  
日程ー6月16日  
場所ー新松戸キャンパス1号館503教室

学生のボランティア活動に関する  
協定を締結

9

1月28日、流通経済大学、龍ヶ崎市、竜ヶ崎警察署の3者間において、流通経済大学生による「安全で安心なまちづくり」に貢献する活動に関する協定締結式およびボランティア活動員委嘱式が、龍ヶ崎市役所で行われました。委嘱を受けた学生は、通学時などに「Ryu Pat」と書かれた緑色のビブスを着用し、地域の交通安全や防犯に目配りをしていきます。



【編集後記】  
●元号が変わって初めての「RKU Today」をお届けする。新たな時代を迎えるのは常にワクワクする瞬間である。いろいろ憶測を呼んだ元号も「令和」に決まった。「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められているという。  
●平成は、確かに、日本が近現代において初めて戦争を経験しない時代になった。しかし世界に目を向ければ、頻りに戦争やテロのニュースが飛び込んでくる。国内においても幼い子供が犠牲になる事件が後を絶たず、命の尊厳を考え平和を祈

らない日はない。  
●世の中はすでに第4次さらには第5次産業革命の時代だそうだ。技術革新により生活は便利になり、新たな文化も生まれるだろう。しかし刻々と変化する現代社会に、人々の心は置いてけぼりになってはいないだろうか。  
●東京オリンピックまであと1年。美しい心を文化として世界に発信することが、これからの日本にできる平和貢献であり、真の国際社会への道ではないか。新たな元号にそのような思いを感じずにはられない。(編集子)

# OPEN CAMPUS 2019開催中!

先輩と交流して、流通経済大学を体感しよう!

流通経済大学のオープンキャンパスには、リアルな大学生活を体感できるプログラムが盛りだくさん。  
大学の雰囲気を感じ、模擬授業に参加し、いきいきと活躍する先輩たちと直接交流できるのがその魅力です。  
事前予約は不要です。オープンキャンパスに参加して、進路選択のヒントをつかもう。



- 経済学部 経済学科/経営学科 ■ 流通情報学部 流通情報学科
- 法学部 ビジネス法学科/自治行政学科 ■ 社会学部 社会学科/国際観光学科
- スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科/スポーツコミュニケーション学科

## 龍ヶ崎キャンパス

茨城県龍ヶ崎市 120

## 新松戸キャンパス

千葉県松戸市新松戸 3-2-1

7/27 [土]

7/20 [土]

8/6 [火]

8/28 [水]

8/21 [水]

9/21 [土]

9/28 [土]

11:00 - 15:00

### 大学を知ろう

- ・RKU全体説明会
- ・学科紹介プレゼン
- ・学部学科発見コーナー
- ・模擬授業
- ・キャンパスツアー

### 入試を知ろう

- ・入試説明
- ・AOエントリーコーナー

### 大学生活を知ろう

- ・各種相談コーナー
- ・留学相談コーナー
- ・先輩とのフリートーク
- ・学食体験



### RKU GUIDE BOOK 2020

入試センターまでお電話かEメールにてご請求ください。ホームページからもお申し込みいただけます。(送料とも無料)

### お問い合わせ

流通経済大学入試センター

☎ 0120-297-141

🌐 <https://www.rku.ac.jp/>

✉ [ees@rku.ac.jp](mailto:ees@rku.ac.jp)

※各キャンパスの入試センターで個別入試相談も実施中。(詳しくは本学HPをご覧ください)

**RKU** 流通経済大学

学報 **RKU Today** vol.37 2019年7月発行

編集・発行/学校法人日通学園 流通経済大学 企画広報室

茨城県龍ヶ崎市120 〒301-8555 TEL:0297-64-0001(代表)



UNIVERSITY ACCREDITED 2015.4-2022.3